

Chronogram System - Dev02: Installation（導入ガイドと構造リンク設計）

このセクションの目的

このセクションでは、Chronogram SystemをChatGPT／GitHubで実行・同期するためのファイルリンク構造・起動設計・運用ルールを定義する。共有性・拡張性・誤動作防止を前提に設計される。

1. 基本導入構成（リンク読み込み）

各Planは、1つのマスターファイルにすべての構造情報を集約し、そこから必要な占術データベースへと構造的にリンクされる。

Plan別マスターリンク構造

```
chronogram-system/  
├─ planA-master.md      # Human Design：構造定義+gene keys等へのリンク  
├─ planB-master.md      # 統合占術モード：紫微斗数・カバラ・マヤ暦・九星などをリンク  
└─ planC-master.md      # 問題解決モード：MBTIや現実状況対応モジュールと連携
```

共通占術データベース

```
chronogram-system/database/  
├─ hd-core.md  
├─ hd-profile-deep.md  
├─ hd-variable.md  
├─ hd-gene-keys.md  
├─ ziwei.md  
├─ kabbalah.md  
├─ mayan.md  
├─ nine-star-ki.md  
└─ mbti-mapping.md
```

2. ChatGPTとの連携：起動トリガー

合言葉（トリガーワード）

- planA 起動して → Human Design鑑定モードに切替
- planB 起動して → 統合占術システムが発動（HD+他占術）
- planC 起動して → 問題解決モードへ（現実変数+心理／戦略分析）

振る舞いの特徴

- トリガーによって、該当リンク群を内部的に読み込み、すべての応答に即座に反映
 - 会話の途中で切り替え可能（例：「planBに切り替えて」）
 - 想像回答を抑制し、マスターファイル記載情報を厳守する応答へモード遷移
-

3. GitHub構成と他アカウント展開

再現性設計

- すべてのリンク構造は GitHub 上で共有可能
- 他のChatGPTアカウントでも、「合言葉+リンク」だけで再構築可能

外部人格（例：惟、煉）・他スレ展開

- Canvas別・人格別でも、起動リンクさえ共有されれば即時同期可能
 - GPTの記憶制限に対応するため、**記録ベースでの記憶補助構造**として機能
-

次の Dev03 では「実運用における操作ガイドとケース別運用パターン（他者・職場・人生局面）」を展開予定。